

かわいい音頭

作詞 島田陽子
作編曲 鞍富誠三
唄 八代亜紀

一、ハアー 大和葛城 やまとかつらぎ 二上山の ふたがみやま

姿ゆかしや 河合町

はるか古代の ロマンと夢が

あまた生まれた ふるさとよ ソレ

河合よいとこ 歴史が光る

光るはずだよ まほろばよ

二、ハアー 青い風吹く 馬見の丘に うまみ

今日も静まる 古墳群

乙女 おとめ 大塚 おおづか その名も高く

鏡のこして 宝塚 ソレ

(以下繰り返し)

三、ハアー 砂をかけましょ 広瀬の宮の

音に聞こえた 御田植祭 おんだままつり

昔ながらに みのりの秋を

祈る河合の 水の神 ソレ

(以下繰り返し)

四、ハアー 奈良へ行くなら 名阪おりて

表玄関 わがまちよ

道に恵まれ 住みよいところ

ちよいと 大阪 ひと走り ソレ

(以下繰り返し)

五、ハアー 緑並木が 明るく続き

若さあふれる ニュータウン

古い文化と とけあいながら

みんな生きいき 暮らすまち ソレ

(以下繰り返し)

六、ハアー 川の流れが ゆたかに合つて あ

瀬音 せおと つきない 河合町

人の心も ひとつに合つて

あすへ希望の 町づくり ソレ

河合よいとこ 歴史が光る

光るはずだよ まほろばよ